

目次

1. 企画書とは

2. 企画書には何を書く?

3. 企画書作成のコツ

4. 実践!企画書作成

1. 企画書とは

1. 企画書とは

解決すべき <u>に対して</u> 解決策を提示した文書

企画:ある事をするため、計画を立てること。もくろみ。

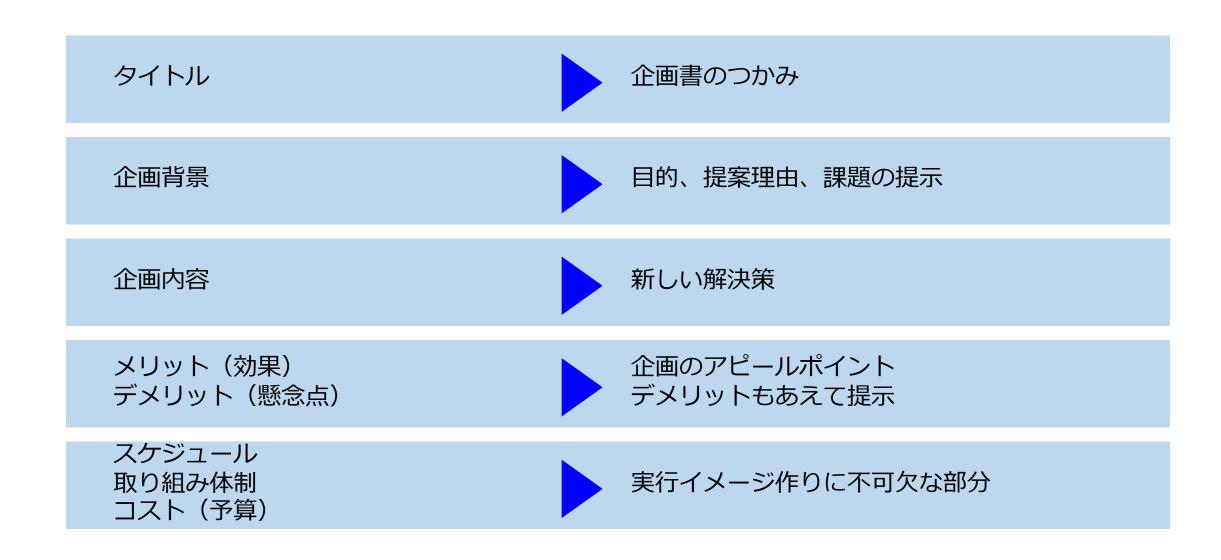
1. 企画書とは

企画書の目的は、読み手に「実行したい」と 思ってもらうこと

- ・採用したくなる企画を考える
- 読み手に伝わるまとめ方をする

2. 企画書には何を書く?

2. 企画書には何を書く?



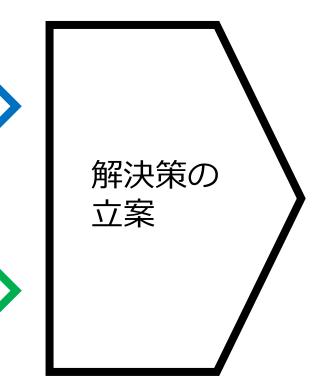


企画の2大パターン

持ち込み(自主型)自社開発など

提案理由=課題の発見が必要

依頼型 (コンペ) 受託開発など 提案理由=課題が設定済み



1: 企画背景

課題を捉えることが重要

読み手の悩み・社会のニーズを整理し、原因がどこにあるか探る →真の原因(=本質的課題)が発見できれば 企画の8割は完成と言える

課題発見の手法

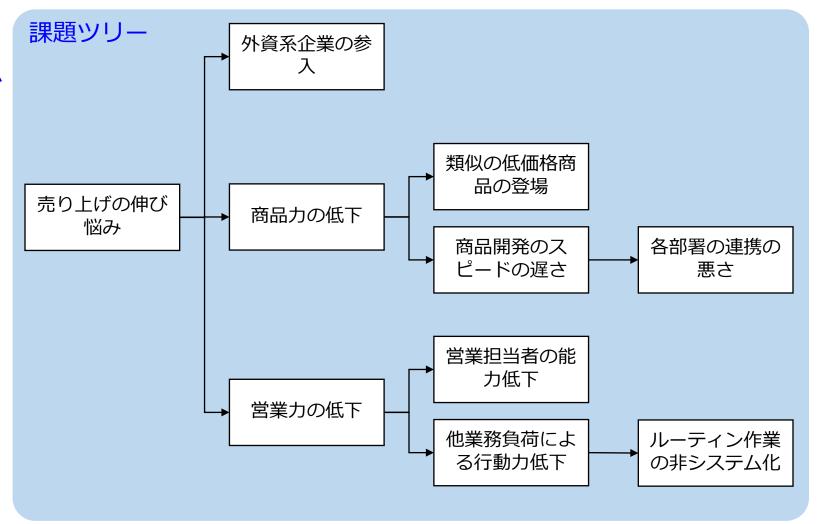
- ロジカルシンキング
- フレームワーク

1: 企画背景

1: 企画背景

課題発見の手法

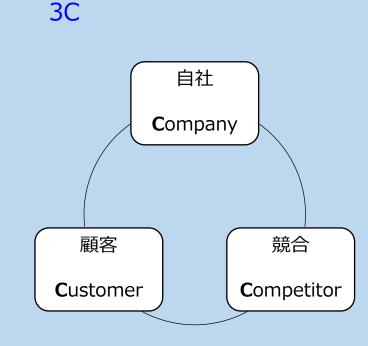
- ロジカルシンキング
- ・フレームワーク



1: 企画背景

課題発見の手法

- ロジカルシンキング
- ・フレームワーク



SWOT

	プラス要素	マイナス要素
内部	強み	弱み
環境	(S trengths)	(W eaknesses)
外部	機会	脅威
環境	(O pportunities)	(T hreats)

解決策立案における発想法

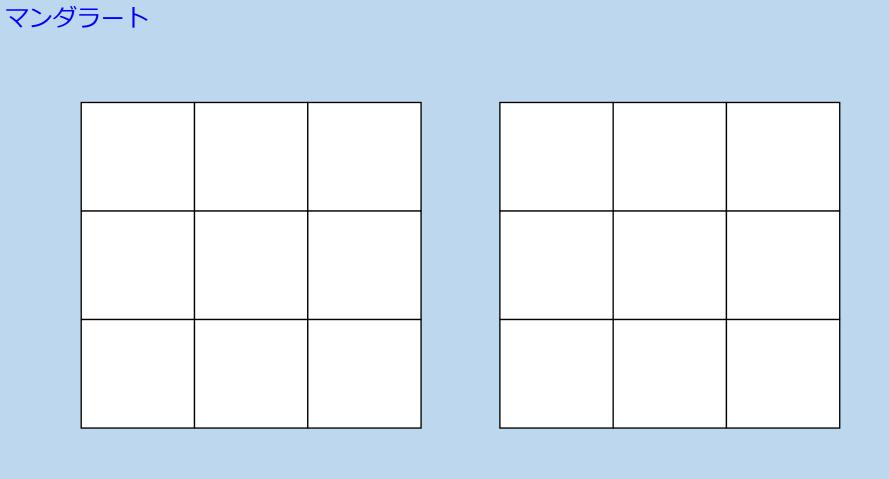
- 単独編
- グループ編

2: 企画内容

2: 企画内容

解決策立案における発想法

- 単独編
- グループ編



解決策立案における発想法

- 単独編
- グループ編

オズボーンの自問法

	1	転用	他に使い迫はないか? 改良して使い道は?	リノベーション物件
	2	応用	他からアイデアを借りられないか? 似たものを真似できないか?	こうもりから着想したレーダー
	В	変更	変えてみたらどうか? 色、様式、型などを変えてみると?	有名楽曲のカバー
	4	拡大	大きくしてみると? 強く、多く、長く、厚くなどすると?	テーマパークの年間パスポート
	2	縮小	小さくしてみると? 軽く、低く、浅く、暗くなどすると?	一人用カレー具材
I	6	代用	何かで代用できないか? 他の素材は?	豆乳ケーキ
	7	置換	入れ替えてみたらどうか? 順番、要素などを取り替えると?	夜残業から朝残業(朝活)へ
	8	転換	逆にしてみたらどうか? 上下、前後、左右など変えてみると?	リバーシブルパーカー
	9	結合	組み合わせるとどうなるか? 複数の要素を混ぜてみると?	おサイフケータイ

他に使い気はよりかっ

2: 企画内容

解決策立案における発想法

- 単独編
- グループ編

ブレインストーミング

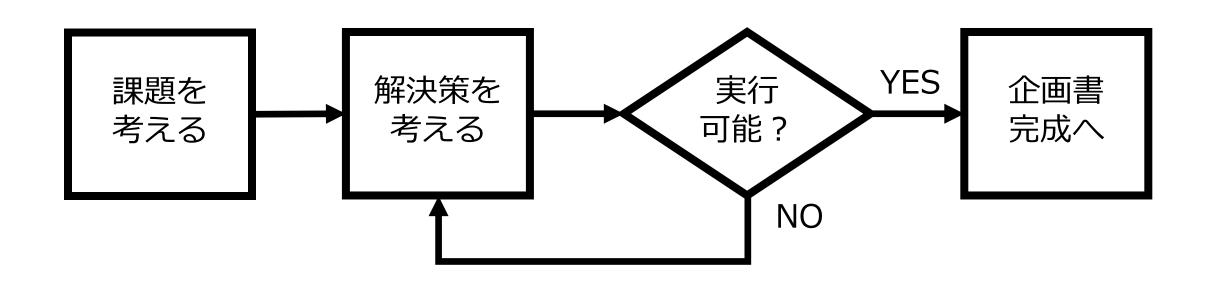
参加者が自由に多くの意見を出し合うことによって 独創的なアイデアを引き出す集団思考法

- 良い悪いの判断はしない(他人の意見の批判をしない)
- 自由奔放でOK(アイデア発想に制限を設けない)
- 量が多いほど良い(質より量)
- 他人のアイデアに便乗OK(発想を発展させる)

メリット・デメリット両方を充分に洗い出す

- メリットはしっかりアピール
- デメリットも見落としがないくらい挙げておく
 - →企画が進行してからデメリットが頻出すると 対応が手遅れになるおそれがある
- デメリットを上回るメリットがあるのが望ましい
- そうでない場合も個々のデメリットの対策や代替案を提示

実行可能性を考える



スケジュール

Before

例:○○システムの開発・販売計画

開発

・設計: 10月上旬~11/2

・実装: 11月上旬~12月上旬

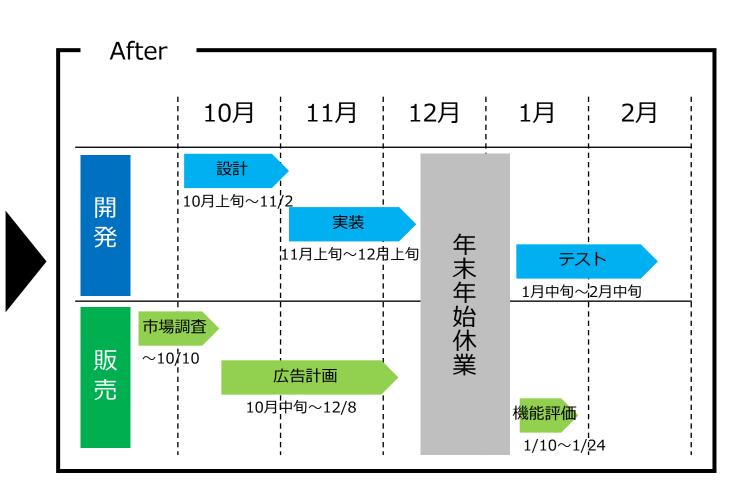
・テスト:1月中旬~2月中旬

販売

・市場調査:~10/10

・広告計画:10月中旬~12/8

・機能評価:1/10~1/24



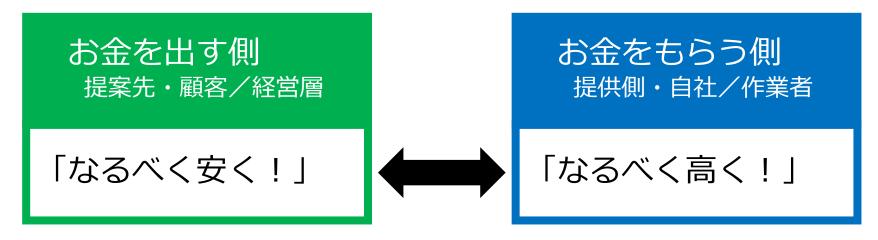
4: スケジュール・取り組み体制・コスト

取り組み体制

プロジェクトメンバーの人選と負荷

- 1. 企画実行で発生する作業を洗い出す
- 2. プロジェクトメンバーの役割・担当を考える
- 3. プロジェクトメンバー(各担当者)の負荷を考える

コスト



- 1. 発生する費用(コスト)項目を洗い出す
- 2. 費用の概算を出す
- 3. 費用の大きなものからもう一度見直す
- +α:企画実行による利益やコスト削減効果を記載

5: タイトル

企画書はタイトルで決まる!

- 伝わる(わかりやすい)
- インパクトがある

Before 生産管理システムの開発 **After**

プロセス可視化!次世代システムの開発 ~コスト2割削減を目指して~ 4. 実践!企画書作成

4. 実践!企画書作成

前提:文章のわかりやすさに配慮する(ビジネス文書の基本)

1	結論から先に記述する	PREP法(P oint:結論, R eason:理由, E xample:事例, P oint:結論)	
2	お客様の言葉を使う	例:「管理職」と「マネージャー」→お客様の使っている方を使う	
3	一文は50文字以内	~ので、~だが、~のため、と接続詞で延々と続けず一文を短くする	
4	箇条書きは3つまで	ケースバイケースだが多すぎる時はカテゴリで分けるなどする	
5	数字を駆使する	具体的な数字を入れると説得力が上がる	
6	余計な修飾語は使わない	とても、すごく、など多用すると稚拙になる	
7	文字の大きさや色を統一する	タイトル、見出し、本文それぞれを統一する	
8	比喩表現はカギ括弧で囲む	例:「野球型組織」から「サッカー型組織」へ	
9	字体(フォント)を統一する	標準的:ゴシック体、明朝体 おすすめ:メイリオ、ヒラギノ角ゴ	
10	英字・数字・カナを統一する	半角と全角を混在させない	

4. 実践!企画書作成

フォーマット:「一枚企画書」が主流

企画書	作成者	作成日
正四目		年 月 日
テーマ		
依頼内容(目的	5)	
区域門台 (日1	5)	
企画内容(アイ	· デア)	
	,	
対象者(提案先	こやシステム利用者)	
事前検証(情報	及)	

